

男女共同参画社会づくりに 向けての全国会議

6月27日 日比谷公会堂

《テーマ》
～女性と男性で輝く社会へ～
紅一点じゃ足りない。家事場のパパチカラ

女性にとって働きやすい環境をつくり女性の労働機会、活動の場を充実させることが、これからの日本を支える大きな課題であることが強く感じられた会議であった。女性が輝く社会を目指すには、女性の活躍が日本の経済成長に欠かせない。女性の活躍推進を図り、日本における女性の就業率アップに向けて、結婚・出産・子育て・再就職等女性が働きやすい環境の確保を目指しての具体的目標などが紹介された。

駐日オーストラリア大使が、「豪州における女性活躍推進の取組」と題して、これまでに自国で進められた施策（幅広いジェンダー平等を推進し、男女格差縮小や、官民共同で、女性活躍のための理解を求める男性への意識改革）などが紹介された。

第2部パネルディスカッションでは、伊藤忠商事、日立製作所、ローソン、フェザーリングジャパン等企業における女性活躍推進の取組事例や女性管理職登用等の実態について発表があった。女性の活躍を継続させていく取組として光ったのは、イクボス（部下のワークライフバランスに配慮し、会社での成績を上げていく上司）の存在だった。

全国会議に出席して、高齢化社会をはじめ、生活に関わる身近な課題に、世界同時進行で男女共同参画が大切なキーワードになっていることを強く感じた。（山崎）



日比谷公会堂にて



2日目

記念講演

山口 香(筑波大学体育系准教授)
柔道家



柔道は、他のスポーツと違い、投げられたときのための受身の練習から入る。嘉納治五郎が女性に柔道を教えたのが始まりだが、日本において女性が試合に参加することはできなかった。福田敬子さんは、結婚をあきらめアメリカで柔道の普及に努めた人。アメリカで、ラスティ・カノコギさんが男性に混じって試合にでて非難されたが、その後女性が試合をすることを広めた。柔道をするには「強く・やさしく・美しく」をモットーに。

- ・人間として強くなる
- ・言える勇気を持つ
- ・女性の自立を目指す

以上のことも含まれている。人間として、相手の立場に立って考えること。人の痛みに関心を持ち、違いに気づき、違いを受け止めることが社会全体の幸福であり、自分にもかえってくる。相手の話を聞くこと、そして話しをすることができるよう。→違いを尊重し違いに価値を見いだす。（齊藤）

実行委員長 林 美枝子
(日本医療大学 保健医療学部教授)

●札幌に集い実る。そして未来へ●
今、
行っていることはプロセスにすぎない。
けれども
そのプロセスは非常に大事で
曲がり角の向こうに
未来の景色が見えるはず。



オープニングはアイヌ古式舞踊

日本女性会議 《男女共同参画》2014札幌

～女も男も暮らしやすい社会をめざして～
10月17・18日「日本女性会議2014 札幌」
に4名で参加してきました。
心に残ったこと・感じたことは・・・。

1日目

高齢社会と男女共同参画

～女も男も！地域で支えるケアと福祉～

■地域包括ケアシステムは・・・
システムではなくネットワーク。だからその地域ごとの特色がでる。都会と過疎地では当然有り様が違う。

- 札幌市における介護問題は・・・
 - ①家族をあてにしない。
 - ②郡部から大都市に高齢者が移住してくる。
 - ③低所得が多い。
 - ④介護を担う人材が不足してくる。

……このことは全国の厳しい状況を先取りしていると思う。

- 男性は地域社会との付き合い方が下手！
 - ①自宅に閉じこもりがちになる
 - ②関わり方を拒否する→孤立化による社会からのドロップアウトSOSを発しない人々（セルフネグレクト）→孤立死・ゴミ屋敷等

……これらの問題に遭遇したとき私たちはどのような解決手段をとることができるか・・・
(濱砂)

■これまで、介護問題はイコール嫁(女性)問題であったが、まさに男女共同で対処していかなければならない。介護施設の利用法、介護家族への支援、健康年齢を維持する地域の力、すべてが男女共同作業であることが望ましい。

■高齢化は負のイメージが強いが、決してそうではなく、「ニーズと人をつなぐ」観点から高齢者と無職の若い人をつなぐと、そこに「仕事」が発生し未来に繋げていけるという話に救われる思いがした。
(豊留)



男女共同参画の視点に立った意識改革をするには ～オリジナルシナリオの活用を～

■一人暮らしの梅さん(85歳)はゴミを出す日がわからなくなり、いつのまにか梅さんの家はゴミ屋敷となってしまった。そのことに気付いた近所の方・町内会の方たちが話し合いを持つことになる。

町内会で起こった事件を柱に地域社会での男女共同参画について話し合う。

- ①町内会長や自治会長は男性が行うという意識を変える。
- ②地域包括センター・民生委員等横の繋がりが必要。
- ③女性も積極的に町内活動に参加する。

●いろいろな場面の問題点を題材に、シナリオにして演じてみせることで、参加者には解りやすく理解も深まり、話し合いが進めやすくなっていった。シナリオの活用は、この先の推進会議の活動にいかにしていけるようにしたい。

(齊藤)



大会宣言から

*変わるべきは、わたしたち自身でもあり、わたしたちの身近な人たちに、男女共同参画社会という希望を語り続けましょう。

*子どもたちに、性別を理由とした区別をしてはいけないと何でも教え、その役割分担は、性別により固定してはいけないことを伝えましょう。

*あらゆる女性や弱者への暴力を否定し、個人が自分らしい生活や職業を選ぶことのできる知恵や工夫を分かち合ひましょう。